

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 バジャー・ピンクフュリー	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.570	△RG 0.041	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：バジャー・ピンクフュリー

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

比較対照ボール：ホワイト・ホットバジャー

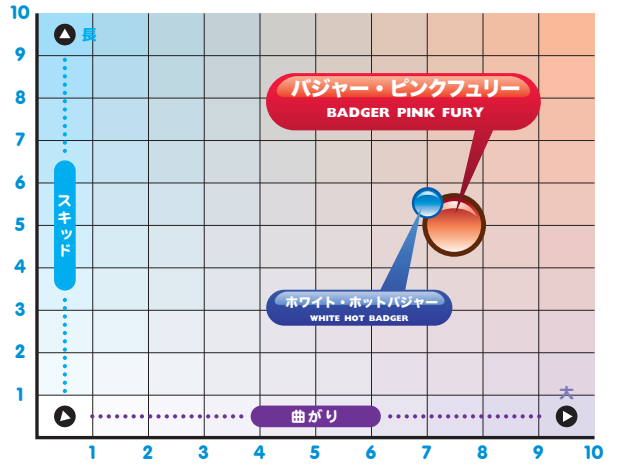
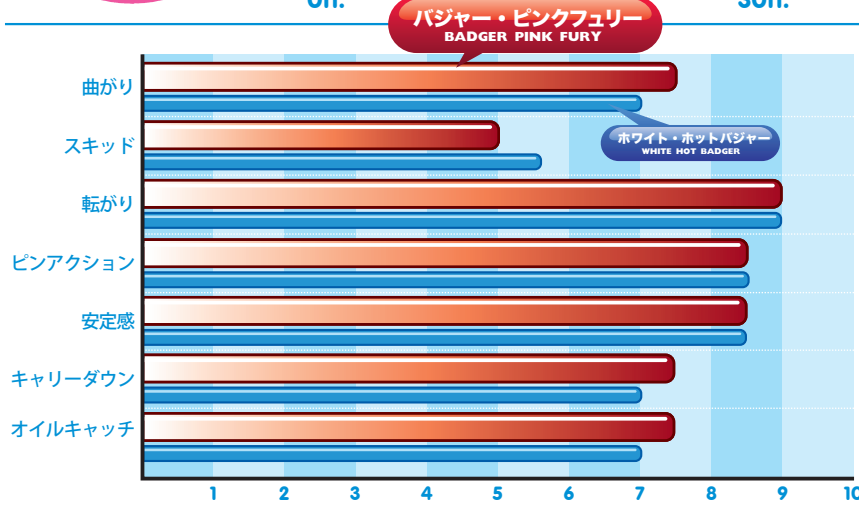
フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

BADGERシリーズには2種類あり、Grapnel AsymmetricのHoney BadgerシリーズとLacerate CoreのBadgerシリーズがあります。今回のPINK BADGERはWhite Hot BADGERやBADGER Infusedに続くLacerate CoreのBADGERの最新作で、対称コアのボールです。Infusedを除き、今までと違うのは初代BADGERからBloodyはHybrid、White HotはPearlのS71カバー。このPINK BADGERはS71 Solid Reactiveで900Globalで初の採用です。

Solid素材という透明感のない色合いの印象がありますが、このPINK BADGERはSolidでもかなり明るさを感じます。投球するとS71の領域としてはオイルを掴む印象があります。今月発売のFLUX PearlはS72のPearlですが、明らかにPINK BADGERの方がブレーキが早めにかかっているのを感じました。十分に走りは感じますが、不安定になる程スキッドし過ぎないところは安定感を感じますし、BADGER特有の奥の動きも明確に見えますので、ミディアムコンディション中心にボウラーを選ばない安定したパフォーマンスをお約束できると思います。Solidカバーだどうしても反応の鈍さが先入観としてあるかもしれませんが、900Globalのカバー領域がやや低めのSolid素材は強過ぎないと同時にメリハリ感が出せるのが特徴で、オイルに対しての安定感とバックエンドのメリハリ感を叶えるために計算されて作られているのがわかります。このようなボールは人により評価が異なる事が少なく、ミディアム領域で性能がしっかり出るので、ショップのオペレーターもオススメしやすいのではないかと思います。

900Global社のS71、S72領域はPearl, Hybrid, Solid素材の違いとコアの形状を変えることで幅広い領域を賅えます。特にフランチャイズのコンディション事情ではこの領域が非常に当てはまりやすく、しっかりパフォーマンスが出ますので、必ずバッグに入れておくべきでしょう。

特記事項

前作White Hot Badgerよりもややブレーキが早くかかっていますが、バックエンドの動きはそのまま継承されています。Medium系で先で動くボールを求めている方は武器になること間違いなしです。